第１号議案

令和４年度事業報告

令和２年から続く新型コロナウイルス感染症は、変異株の発生もあり幾度となく感染拡大を繰り返し、そのたびに行動が制限されるなどの措置が取られてきた。

令和４年後半には、新型コロナウイルス感染症による入国制限などの水際対策の緩和措置が取られるなど、これまでの様々な制限が緩和されたことから、旅行者も増え、コロナ禍前にもどりつつある。

各種調査によると、コロナ禍の中で生じた住民意識の変化は、地方への移住や旅行先として農山漁村地域へのニーズが高まってきた。

協議会では、このような状況を踏まえ、農山漁村に宿泊し、滞在中に食事や体験等を楽しむ「農泊」が引き続き重要であると考え、グリーン・ツーリズムの推進方向として「農泊」を位置づけ、本県での農泊を推進してきた。

具体的には、これまで取り組んできた農泊の主要な３分野（宿泊、食事、体験）での実践者の掘り起こしと分野別ネットワークの拡充に加え、４年度から本格実施している県内各地での農泊体験企画に取り組んできた。

《独自事業》

１．情報発信事業

（1）SNS を活用した情報発信

協議会 HP「やまがた的グリーン・ツーリズム」と併せ、SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム）を活用した情報発信を継続的に実施

《フォロワー数》

	R１	R2	R3	R4
ツイッター	2,361	2,450	2,521	2,503
フェイスブック	592	645	753	1,132
インスタグラム	235	401	504	548

（2）会員チラシ等のダイレクトメールでの送付

会員からの送付の希望を受け、会員チラシ等を一括して DM で送付

①第１回目

送付日：6 月 3 日

送付先：948 世帯（県内 635 世帯、県外 313 世帯）

昨年度１回目：878 世帯（県内 569 世帯、県外 309 世帯）

送付会員：6 会員（昨年度１回目 12 会員）

全国向け 4 会員、県外のみ１会員、県内のみ１会員

②第２回目

送付日：12 月 19 日

送付先：946 世帯（県内 634 世帯、県外 312 世帯）

送付会員：10 会員（昨年度２回目 9 会員）

全国向け 7 会員、県外のみ 3 会員、県内のみ 0 会員

(2)「さくらんぼナビ」の運営

「さくらんぼナビ」の正常な運営を行うため、地図情報として使用しているグーグルマップのアクセス数が有料となる一定量（月 28,000 アクセス）を超えた場合の使用料を支払うこととしている。

令和 4 年度は一定量を超えなかったため、今年度の超過料金は発生しない。これに伴い、登録会員への令和 5 年度での精算金の請求はない。

アクセス数：5 月 4,316（1,335）、6 月 10,473（3,012）、7 月 1,563（828）

(3) 関係団体との連携

①関係団体への継続参加

会費納入　山形県観光物産協会（免除）、山形県教育旅行誘致協議会（30,000 円）
山形県農業会議（30,000 円）

その他　日本ファームステイ協会、農林水産業活性化推進本部、やまがた 6 次産業化戦略推進本部、おいしい山形推進機構、食育県民運動・地産地消推進本部、やまがた 6 次産業人材育成コンソーシアム、やまがた広域観光協議会

②みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会との連携

1）みやぎグリーン・ツーリズムネットワーク大会への参画

～　「なりわい」としてのグリーン・ツーリズムを育む仕組み作りとは？～

日程：令和４年１２月７日（水）

会場：パレスへいあん（仙台市）

内容：基調講演　山形県 GT 協議会の取組みについて　農泊アドバイザー　武田　剛　氏

事例発表　米津　岳　氏　宮城県加美町　リロカリコクリ㈱代表取締役

亀山貴一　氏　宮城県石巻市　（一社）はまのね代表理事

嶋﨑康二　氏　（一社）かかしの一本足かえるのあぐら　代表

2）やまがた・みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会　交流会の開催

日程：令和５年３月８日（水）

会場：山形国際ホテル

内容：事例発表　（一社）かかしの一本足かえるのあぐら　代表　嶋﨑　康二　氏

いいでカヌークラブ　代表　堀江　守弘　氏

班別交流　《テーマ：交流事業を企画しよう！》　4 班に分かれて意見交換

③山形県さくらんぼ＆フルーツ PR 協議会との連携

さくらんぼをはじめとする県産フルーツの持つ魅力や訴求力を活用したプロモーションを展開することにより、県産フルーツの認知度の向上や観光交流の拡大を図り、もって本県の果樹農業及び観光業その他の産業の発展並びに地域振興に寄与することを目的に発足した。

1）第 1 回総会　（事務局長代理出席）

日程：令和４年１１月９日（水）

会場：山形県庁

内容：①山形県さくらんぼ＆フルーツＰＲ協議会の設立について

②山形県さくらんぼ＆フルーツＰＲ協議会規約の制定について

③令和４年度事業計画について、④令和 4 年度収支予算について

2）第 2 回総会　（会長出席）

日程：令和５年２月１６日（木）

会場：山形県自治会館

内容：「やまがた紅王」デビュープロモーション実行委員会の設置について

※　令和 5 年 6 月の「やまがた紅王」デビュープロモーションに向け、検討し、事業を実施する委員会として設立。当協議会もメンバーの一員。

２．受入態勢整備事業

実践者間のネットワーク形成や人材育成、多様な分野の会員が連携協働する活動を支援するため、予算の範囲内で会員に助成金を交付。

・上期分を令和４年２月末、下期分を８月末に応募受付

・新たな活動への支援を強化するため、同一事業への継続支援に対しては引き続き、調整率による減額を継続　　4～6 年連続 25%減、7 年以上連続 50%減

《助成金の交付先》

４年度の採択は 12 件、助成決定額 840,000 円であり、主催者の都合により中止した１件を除き、事業を実施することができた。

最終の助成実績は 11 件、助成額 640,785 円となった。

⑴　実践者ネットワーク形成支援事業

1）高畠町グリーン・ツーリズムネットワーク　助成額 75,000 円
「たかはたマルシェ」の開催、情報誌「たぐつね」の発行（継続４年目）

2）農家のお宿の会　助成額 88,000 円
県内の子育て世帯を対象にしたフリーペーパーに情報を掲載（初年度）

3）庄内町グリーン・ツーリズム推進協議会　助成額 23,785 円
農泊に関する地域の実践者や会員が連携した研修事業の実施（継続２年目）

4）鳥海山おもしろ自然塾推進協議会　助成額（中止）
やまがた農泊体験塾を企画し、会員が連携して事業実施（初年度）

5）庄内産直組織連絡会議　助成額 75,000 円
会員 19 組織の直売所マップ､周遊レシートキャンペーンチラシの作成(継続５年目)

6）もがみ農村体験ネットワーク　助成額 40,000 円
仙台駅周辺の商業施設での加工品販売やワークショップの実施（初年度）

7）酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会　助成額 34,000 円
情報交換会の開催、ガイドマップの作成（継続 18 年目）

8）やまがた農業女子ネットワーク　助成額 45,000 円
フードロス削減に向けたマルシェ主催、
交流会・勉強会の開催　（継続３年目）

9）長井市グリーン・ツーリズムネットワーク　助成額 100,000 円
交流体験プログラムの立案に向けた研修交流会の開催（初年度）

10）特定非営利活動法人さわらび会（やまさぁーべ）助成額 100,000 円
やまがた農泊体験塾を企画し、地域と連携して事業実施（初年度）

⑵　協働企画実践支援事業

1）だいちゃん農園　助成額 30,000 円
「ハチ蜜の森キャンドル」とコラボし、やまがた農泊体験塾を実施（継続３年目）

2）観光資源マネジメントやまがた　助成額 30,000 円
やまがた農泊体験塾の企画として「しらい自然館」と連携した
体験事業を実施（初年度）

３．普及啓発事業

（1）地域活動推進事業

地域活動推進事業助成金による総合支庁単位での活動を支援

次の４件に対し助成額　235,410 円を交付

①「やまがた農泊体験塾」の活動支援（審査日：5 月 13 日）

実践者のネットワーク組織、又は総合支庁が実践者と連携して実施する「やまがた農泊体験塾」の活動を支援

助成件数 3 件、助成額 155,600 千円

1）やまがた広域観光協議会（村山総合支庁）

大江町で実施する「やまさぁーべの農泊体験」（実施）

村山市で実施する「親子で体験！秋の味覚を収穫して！村山を満喫！」（中止）

助成額 75,000 円

2）グリーン・ツーリズム推進協議会最上地区（最上総合支庁）

金山町・真室川町で実施する「夏のもがみで最上の農泊体験を！」（中止）

鮭川村で実施する「雪国の暮らしと食を満喫」（実施）助成額　9,600 円

3）置賜グリーン・ツーリズムネットワーク（置賜総合支庁）

小国町・飯豊町で実施する「おいたまの農泊体験」（中止）、白鷹町で実施する「葉っぱ塾八木さんと歩く冬のスノーシューハイク体験と白鷹・紅花染めの体験」（中止）

助成額　　0 円

4）庄内観光コンベンション協会（庄内総合支庁）

鶴岡市・庄内町で実施する「庄内の農泊体験」（実施）助成額　71,000 円

②その他の活動支援（審査会：9 月 28 日）

助成件数 1 件、助成額 79,810 円

1）置賜グリーン・ツーリズムネットワーク（置賜総合支庁）　助成額 79,810 円

SNS 置賜農産物プレゼントキャンペーン、近隣県でのイベント出店

（2）会報の発行

会員の方々の情報交換等を目的として、年 2 回の会報を発行

① **会報 vol.10 を 7 月に発行**

② **会報 vol.11 を令和 5 年 3 月に発行**

令和 4 年度の事業報告

（3）**産直市の開催**

山形県観光物産協会が主催する「Happy Friday in 霞城セントラル」へ産直市を出店。会員の出店の場として提供。

・日程：5 月～3 月の毎月 1 回（原則第 4 金曜日）

※4 月は開催中止

・場所：霞城セントラル 1 階アトリウム

・出店状況：5/27（6 会員）、6/24（6 会員）、7/22（10 会員）、8/26（12 会員）
9/30（9 会員）、10/14（8 会員）、11/25（9 会員）、12/23（7 会員）、
1/27（6 会員）、2/24（8 会員）、3/24（9 会員）
計 11 回（延べ 90 会員が出店）

・出店者から出店負担金（各回 500 円）を徴収し、その範囲内で開催に要する経費を賄う

・2 ヶ月に 1 回程度 PR チラシ（各回 500 部）を作成し、周辺に配置

※　5 月、7 月、9 月、11 月、1 月に作成

４．農泊推進事業

（1）農家民宿等連携事業

「農家のお宿の会」の活動を支援（新たに６名の新規入会があり 25 名に拡充）

①農家のお宿サイトの運営

農家のお宿サイトを活用した宿泊申込みの受付け等の支援

令和４年度の申込み 129 件（312 名）中、成約 74 件（194 名）

地域別の申込：県内８件、東北 12 件、関東 80 件、その他 29 件

※　令和３年度は１年間で申込み 46 件

地域別の申込：県内８件、東北５件、関東 25 件、その他８件

②「農家のお宿の会」例会の開催

1）第９回例会

日　時：９月８日（木）

出席者：21 名中 15 名出席（うちリモート出席４名）

※新たに２名の新規入会があり会員数 21 名となる

（例会後、４名の新規入会があり、現在 25 名となる）

概　要：今後の取組み方向について協議

1）規約の改正について（規約第７条関係）

規約第７条に規定する経費について、「予約フォームの利用者に応じた宿泊料の 1%」を「予約フォームの利用者に応じ、利用者数に１件 100 円を乗じた額」を徴収することに決定

2）役員改選について

代表　志藤一枝さん（継続）、会計　坂井奈緒さん（継続）

任期：令和６年９月まで

3）「やまがた農泊体験塾」について、各農家民宿が近隣の実践者と連携した企画を募集

4）日本ファームステイ協会の「農泊品質評価支援制度」の評価員研修を受入れることとし、研修会に参加する 20 名の宿泊料の一部を助成する方向で検討する考えを説明。（その後、研修を中止し、施設調査（評価）受入れ）

2）第 10 回例会

３月８日（水）に実施した「やまがた・みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会交流会」を例会に位置づけ実施した。

日　時：３月８日（水）14：30～

出席者：25 名中 10 名出席

③ふるさと納税返礼品としての共通農泊体験チケットの発行

農家民宿に宿泊しながら農山漁村を体験できる１泊２日の農泊体験の共通チケット（宿泊１泊、食事２食、体験をセットに 10,000 円で提供）

「農家のお宿の会」に加盟する農家民宿の中の 12 軒が参加

寄付金額：34,000 円

発行件数：１軒、　7,000 円

④農泊体験塾の実施支援

「農家のお宿の会」の農家民宿が農泊体験塾を実施する際に、近隣の実践者と連携する体験費用を対象に参加者一人当たり 2,000 円を支援

支援先：民泊耕房　とら豆（夏 5 名：10,000 円、秋 4 名：8,000 円）

（2）やまがた農園ランチめぐり事業

令和 3 年度「農園ランチめぐり 2021」プレゼント企画の精算

令和 3 年度に当選者 25 名に対して、商品として「ペア食事券」を発行。

利用期限は令和 4 年 6 月末まで。利用のあった店舗からの請求により精算。

実績：15 店舗　44,206 円

（3）農泊総合ガイド事業

農泊に関連する宿泊、食事、体験、直売、風景の 5 分野を一元的に紹介する「やまがた農泊総合ガイド」を令和 4 年 3 月末に発行、県内及び宮城県内の関係書店、協力店で販売している。

①一般販売数　1,500 冊、作成冊数 2,000 冊

（掲載施設への提供 250 冊、県土利用政策課 100 冊、販促用 150 冊）

②販売方法　販売価格 990 円（税込）

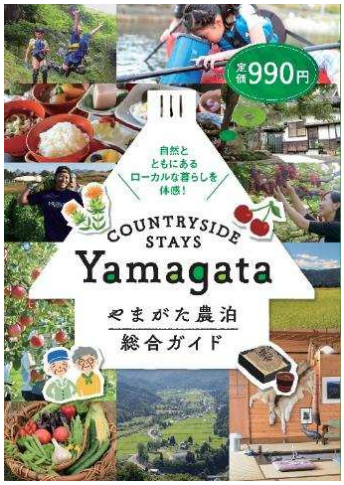
主な書店での販売を中心に、販売に協力が得られる施設でも販売

販売手数料として販売価格の 20%を提供

③一般販売

1）書店での販売（26 店舗）　【　】…売上冊数

八文字屋（10 店舗）	300 冊	【109 冊】
こまつ書店（6 店舗）	200 冊	【142 冊】
宮脇書店（2 店舗）	60 冊	【 30 冊】
未来屋書店（7 店舗）	150 冊	【 55 冊】
丸善ジュンク堂書店（1 店舗）	30 冊	【 15 冊】
ブックユニオンたかはた	10 冊	【　2 冊】
小計	750 冊	【353 冊】



2）販売協力店での販売

王将果樹園	20 冊	【 1 冊】
道の駅あさひまち「りんごの森」	10 冊	【 8 冊】
道の駅尾花沢「花笠の里 ねまる」	20 冊	【4 冊】
道の駅米沢	20 冊	【 3 冊】
道の駅川のみなと長井	20 冊	【 4 冊】
道の駅しょうない風車市場	40 冊	【21 冊】
道の駅白い森おぐに	20 冊	【 9 冊】
山形空港ビル	20 冊	【 2 冊】
葉っぱ塾	20 冊	【12 冊】
小計	190 冊	【64 冊】
事務局		【60 冊】
合計	940 冊	【477 冊】

3）販売期間

令和 4 年 4 月 20 日～令和 6 年 3 月 20 日

④販促活動

1）PR チラシの作成

作成部数 20,000 部、作成経費 32,318 円（3 年度支出）

2）広告掲載

山形新聞が発行する「山形百彩」及び山形新聞内広告に掲載　掲載費用 33,000 円

《山形百彩》

《山形新聞》

3）ガイドブックプレゼントキャンペーン

・PR チラシ　10 冊（はがき応募数 195 通）

・YBC ピヨ卵ワイド 6/17 放映　4 冊（応募数 9 件 5 名）

・山形県観光情報番組　YBC「ワクワク！やまが旅」

6/25 放映　5 冊（応募数 178 件）、7/16 放映　5 冊（応募数 166 件）

・山形新聞「山形百彩」2022 夏版 6/24 発行　10 冊（非公表）

・河北新報「河北ウィークリーせんだい」7/14 発行　10 冊（応募数 15 件）

・フリーペーパー「gatta!」6 月号　5 冊（応募数 20 件）

・りらく　9 月号　5 冊

《YBC ピヨ卵ワイド》

《gatta!》

≪りらく≫

4）新聞への掲載

スローな農泊にぜひ

県推進協が総合ガイド発行

食事、体験、直売… 情報を一元化

《山形新聞 4/24》

農泊

推進協、ガイド本発行、誘客狙う

≪河北新報 4/23≫

2022年(令和4年)4月26日(火曜日)

農泊 施設や魅力紹介

グリーン・ツーリズム推進協

ガイドブック製作、販売

≪読売新聞 4/26≫

5）その他

農泊 nohaku.net 農泊ポータルサイト

泊まる　楽しむ　味わう

農泊サイト > 最新ニュース > 「COUNTRYSIDE STAYS Yamagata ～やまがた農泊総合ガイド～」発行のお知らせ

「COUNTRYSIDE STAYS Yamagata ～やまがた農泊総合ガイド～」発行のお知らせ

農泊地域からの最新情報

2022.04.25

山形県グリーン・ツーリズム推進協議会では、緑豊かな農山漁村でありのままの暮らしを体験できる「農泊」や、その土地ならではの食事を味わい体験や交流、風景を楽しむ"スロー"な旅を体験していただけるよう、今回新たに、「COUNTRYSIDE STAYS Yamagata～やまがた農泊総合ガイド～」を発行いたしました。

「やまがた農泊総合ガイド」では、農泊に関する「宿泊」「食事」「体験」「直売」「風景」の５つの分野について、山形県内の情報を一冊にまとめており、農泊プランも提案しておりますので、当ガイドを手に取り山形県内の農山漁村を体験してみてください。

春夏秋冬、日の出から日の入りまで自然に寄り添いながらすごす時間は、今までのライフスタイルに新たなエッセンスを与えてくれます。
山形の日常にひそんだ新たな魅力や感動を探しに農泊のたびにでかけてみませんか？

【ガイドブック販売店・お問合わせについてはこちら】
http://www.gt-yamagata.com/guide/

≪農泊ポータルサイト nohaku.net　4/25≫

(4) 農泊体験塾実施事業

コロナ後を見据え、県内各地で具体的に農泊を体験できる企画を提供していくため、3年度の体験モニター事業をもとに内容を拡充して本格実施している。

県内各地で具体的に農泊を体験できる企画を提供し、本県の農山漁村地域への来訪を促進する。また、企画の実施の中で、実践者相互及び実践者と関係機関等の連携を図りながら、実践者に農泊への取組みを促していく。

①農泊体験塾の企画コンセプト

県内の緑豊かな農山漁村にある農家民宿やゲストハウス、古民家や旧校舎などをリノベーションした宿泊施設に宿泊し、その地域で採れる新鮮な食材を使った食事を味わい、その土地ならではの体験や交流を楽しむ1泊2日の農泊体験企画

②実施方法

実践者相互又は総合支庁と実践者が協働し、上記の企画コンセプトのもとに農泊を体験する企画を構築。これらの農泊体験企画を協議会が県全体の「やまがた農泊体験塾」として組み立て、来訪者に企画を提供していく。

1）総合支庁が地域の実践者と連携して企画を構築

３年度のモニター事業のブラッシュアップに加え、新たに１企画を構築

総合支庁への活動支援となる「地域活動推進事業助成金」で支援〔再掲〕

2)「農家のお宿の会」の農家民宿が企画を構築

農家民宿での宿泊に近隣の実践者と連携した体験を付加した企画

付加した体験に要する経費を対象に参加者一人当たり 2,000 円を支援〔再掲〕

3）実践者が相互に連携して企画を構築

主体となる実践者を中心に各々が役割分担する企画

「受入態勢整備事業助成金」を活用して支援（予算枠内で対応）

③実施の考え方

〇3 期に分けて実施

夏：7 月中旬～8 月末、秋：9 月上旬～11 月末、冬：1 月上旬～2 月末

〇参加者の一般募集

協議会サイト内に応募フォームを設置し、協議会事務局が一括して申込みを受付（各実施主体でも申込みを受付、実施主体が参加者を管理）

〇旅行業法に抵触しない方法による実施

④実施事業

1）各総合支庁が地域の実践者と協働して実施（８企画）（再掲）「地域活動推進事業助成金」で支援

総合支庁	企画団体・実施団体（）	企画の概要・参加者募集
最上	もがみ農村体験ネットワーク（㈱農協観光）	**「金山町・真室川町で学ぶ SDGｓな２日間の旅」7/23～24（1 泊 2 日）** 町自慢の金山杉の美林の散策、金山杉やブナ等の広葉樹を使いマイ箸・スプーン作りの体験企画。 募集：2 組 8 名、参加費 大人 14,000 円　等 申込 3 名➡キャンセルのため中止
村山	大江町山里交流館やまさぁーべ	**「やまさぁーべの農泊体験　目指せ！昆虫マスター！」8/1～3（2 泊 3 日）** 昆虫づくしのディープな 3 日間！カブトムシ、クワガタ、バッタやトンボ、水生昆虫などを捕まえて観察する体験企画 募集：20 名程度（小学生限定）、参加費 16,000 円➡参加　21 名

中止

庄内	庄内観光コンベンション協会・ （㈱庄交トラベル）	**庄内の海と里の魅力を満喫する農泊体験** **～シーカヤックとネイチャリング体験コース～　8/27～28（1 泊 2 日）** シーカヤックなどの海にまつわる体験と、農家民宿での収穫体験で庄内の海と里の魅力を満喫。 募集 2 組 6 名、参加費　12,950 円（1 泊 2 食）➡　参加 6 名
		庄内の海と里の魅力を満喫する農泊体験 **～イカの一夜干しと八乙女浦クルージング体験コース～ 8/27～28（1 泊 2 日）** クルージングなどの海にまつわる体験と、農家民宿での収穫体験で庄内の海と里の魅力を満喫する体験企画。 募集：5 名（2 組）、参加費　10,400 円（1 泊 2 食）➡　参加 2 名
村山	村山市観光物産協会 （トラベルショップ）	**親子で体験‼秋の味覚を収穫して‼むらやまを満喫‼　9/17～18（1 泊 2 日）** 親子で秋の味覚たっぷりの体験 里芋や美味しい果物の収穫、「食べるバラ」の摘み取り体験、ブナ林のトレッキング、田舎料理昼食、バラまつりなど楽しい体験いっぱいの企画 募集：県内親子 15 名、大人　18,300 円　等　➡　申込なし
置賜	置賜グリーン・ツーリズムネットワーク （やまがたアルカディア観光局）	**日本の原風景「飯豊町中津川」で里山生活体験と白川湖カヌー体験** **9/29～30（1 泊 2 日）** 飯豊町中津川地区で普段なかなかできない大自然あふれる白川湖でのカヌー体験。農家民宿で野菜収穫体験など中津川で里山生活を体験 募集：10 名、参加費 19,000 円　等　➡　申込なし
置賜	置賜グリーン・ツーリズムネットワーク (やまがたアルカディア観光局)	**葉っぱ塾八木さんと歩く冬のｽﾉｰｼｭｰﾊｲｸ体験と白鷹・紅花染め体験** **1/21～22（1 泊 2 日）** スノーシューハイク、雪下キャベツ収穫、紅花染め体験等、白鷹町で冬ならではの自然と文化を堪能できる 2 日間の体験企画。 募集：10 名、参加費 16,000 円（1 泊 4 食付）　➡　申込なし
最上	農家民宿はる風、最上総合支庁観光振興課 （はる風）	**「雪国の暮らしと食を楽しむ農泊体験塾」2/18～19（1 泊 2 日）** 最上エリアは、日本有数の豪雪地帯です。真っ白な雪のカーペットに、自分だけの足跡を残す気持ちよさ。一瞬でからだが温まる郷土料理の「納豆汁」など、ユキシカナイ贅沢な田舎の冬を味わう体験企画。 募集：1 組 7 名、参加費：10,000 円（1 泊 3 食付）➡　参加 2 名

2）実践者相互で実施　　4 企画　　受入態勢整備事業助成金で支援（一部除く）

	企画団体	企画の概要・参加者募集
協働企画	観光資源マネジメントやまがた (山形中央観光)	**遊佐町の大自然を思い切り体感！！　親子で SDGｓを学ぶツアー」** **8/20～21（1 泊 2 日）** 湧水の町遊佐の山・海・川などの大自然に触れ故郷山形のすばらしさを再発見する体験企画。 募集：30 名、参加費 16,000 円（1 泊 4 食付）　➡　参加 16 名
	グリバーさがえ・学びの里 TASSHO	**「サイクルツアーと旧小学校でキャンプファイヤー・星空観察」** **9/3～4（1 泊 2 日）** 寒河江の街中を巡るサイクルツアーを体験。夕方からは「学びの里 TASSHO」に泊まってキャンプファイヤーや星空観察を行う体験企画。 募集：2 組 8 名、参加費 17,500 円（中学生以上）　➡　申込なし

中止

協働企画	だいちゃん農園ゲストハウス	**「まるっと Asahi「蜜ろうクラフト作り&りんご農家体験」」** **10/29～30（1 泊 2 日）** りんごの町『朝日町』で、みつばちからの贈り物「蜜ろう」を使ったキャンドル・ハンドクリームづくりや、りんご狩りを体験する企画 募集：15 名、参加費　大人 13,000 円　等　➡　参加　7 名（2 組）
実践者間ネットワーク形成	大江町山里交流館やまさぁーべ （企画・実施）	**「目指せ！冬遊びマスター」 1/21～22（1 泊 2 日）** スノーウォータースライダー、キャンプファイヤー、薪ストーブピザ、スノーデイキャンプなどを体験する小学生限定の冬遊びイベント企画 募集：県内・近隣の小学生 25 名、参加費 15,000 円（1 泊 4 食付） ➡　参加　25 名

3)「農家のお宿の会」の農家民宿が実施　3 企画　　参加者一人当たり 2,000 円を支援

	企画団体	企画の概要・参加者募集
お宿の会	民泊耕房 とら豆	**「尾花沢ほその村で大自然を楽しもう！山形百名山『御堂森』登山と畑の収穫体験」 8/11～12（1 泊 2 日）** 細野地区で「山の日」記念登山企画、「御堂森」登山とラズベリー・野菜の収穫、ジャム作りの体験企画。 募集：2 組 5 名、参加費 9,000 円（1 泊 3 食付）➡　参加 5 名
お宿の会	民泊耕房とら豆	**「実りの秋 尾花沢ほその村で収穫体験を楽しもう！」10/8～9（1 泊 2 日）** 尾花沢細野地区の魅力（愛情たっぷりの里芋や原木ナメコ）の収穫体験企画。「農家レストラン 蔵」の田舎料理も味わえます。 募集：5 名、参加費 9,000 円（1 泊 3 食）　➡　4 名（2 組）
お宿の会	農家民宿 百笑家　姫 （企画・実施）	**「ｽﾉｰﾓｰﾋﾞﾙ･ｽﾉｰﾊﾞｷﾞｰ体験 in 百笑家　姫」 1/28～29（1 泊 2 日）** ｽﾉｰﾓｰﾋﾞﾙ体験、雪像・雪遊び、銀山温泉見学、ｽﾉｰﾊﾞｷﾞｰ体験等豪雪地帯でアクティビティを楽しむ体験企画。 募集：小学 5 年生以上の親子 2 組 8 名、参加費 11,500 円（1 泊 3 食付） ➡　申込なし

中止

⑤開催情報の発信

1）Web ページの発信　≪県委託事業「農泊推進に向けた広域ネットワーク拡大事業」≫

・協議会サイトの「やまがた農泊体験塾」コンテンツから情報発信
「やまがた農泊体験塾」として季節毎（夏・秋・冬）・企画毎に個別ページを開設し、応募フォームを使って参加者を募集

・各企画の終了後にモニターからの体験レポートをコンテンツ内に掲載

《トップページのバナー》

「やまがた夏の農泊体験2022」参加者募集中！
-募集は終了しました-
-募集は終了しました-
-募集は終了しました-
-募集は終了しました-
-募集は終了しました-
-募集は終了しました-
グリーンツーリズム

尾花沢ほその村で大自然を楽しもう！
山形百名山「御至森」登山と畑で収穫体験
マイカーで行く
農泊体験 企画
日程・内容

「やまがた農泊体験塾」に参加してみた！体験レポート特集

体験レポート 2022年

体験レポート 2021年

「やまがた農泊体験塾」に参加してみた！体験レポート特集 2022 夏

「やまがた農泊体験塾2022」夏公開に参加されたみなさんからの体験レポートをご紹介します！

やまなしーべの農泊体験

目指せ！昆虫マスター

（体験コース）

1日目
- アイスブレイク、昆虫採集、夜間トラップ設置
- 夜行性昆虫の観察ツアー
- [集合] 大江町山菜加工所　やまなしーべ

2日目
- 昆虫に関する実験または標本作り
- 校内での昆虫観察ガイドウォーク
- キャンプファイヤー、ドラム缶風呂体験
- [集合] 大江町山菜加工所　やまなしーべ

3日目
- トラップ回収、まとめのワークショップ

体験レポートはこちら

三沖酪農とそば屋 de 農泊での農泊体験

農泊体験をきっかけで大変盛り上がりました！
山形県鶴岡（「酪農王」酪農とそばの農泊体験

（体験コース）

1日目
- 搾乳体験　酪農
- 農家レストラン「花」　地域農産物　夕食
- [集合] 農家民宿　とらや

2日目
- ラジコンヘリと農業用ドローン体験

体験レポートはこちら

世代をめいっぱい楽しもう！親子でSDGs体験

農泊先での大変盛り上がった体験！
親子でSDGs体験ツアー

（体験コース）

1日目
- オリエンテーション、ライチャーゲーム
- 運河調査（川遊び）、中流域での調査体験、水生昆虫採集
- 河川生物調査ベックトランボ調査結果説明、討論の場、夕食
- 農家民宿　宿泊
- [集合] 白鳥の森　しらい自然館

2日目
- 考古学体験と遺跡
- 農家の家　散策　ー伝統農業の農産物トレッキングー
- 農家民宿　朝食
- 運河ラーメンの調査
- 運河の旅　ふるさと

体験レポートはこちら

庄内の海と里の魅力を満喫する農泊体験コース1

シーカヤックとライチャリング体験コース

（体験コース）

1日目
- シーカヤックとライチャリング体験
- 昆ーMOTo散策
- 郷土料理と郷土料理
- [集合] 農家の宿　温泉

2日目
- 海と河川の観光農業　ふるさと市ツアー

体験レポートはこちら

庄内の海と里の魅力を満喫する農泊体験コース2

目指せ！昆虫マスター レポート

昆虫採集

昆虫調べ、標本作り

夜行性昆虫の観察ツアー

キャンプファイヤーとドラム缶風呂体験

2）PR チラシの作成

《県補助事業「グリーン・ツーリズム NEWS 発行事業」》

7 月発行：夏企画（7 月～8 月実施）6 企画の紹介

9 月発行：秋企画（9 月～10 月実施）5 企画の紹介

12 月発行：冬企画（1 月～2 月実施）4 企画の紹介

3）ターゲット別 PR 媒体での情報発信

①　仙台市周辺在住者向け PR

河北新報「河北ウィークリーせんだい」

7/14 発行　220,000 円

②　30～40 代のファミリー層向け PR

インフルエンサーの招聘

YouTuber　「しおたん」の招聘

委 託 先：ゴッツォ山形

委託期間：令和 4 年 6 月 23 日～8 月 13 日

委 託 費：264,000 円（税込）

取 材 日：7/25～26、　動画配信：（前編）8/2（後編）8/5

体験動画

【山形大満喫】お父さんと農泊行ってきたよ！山形の農業、自然、グルメに感動....！！《前編》【やまがた農泊体験塾】

【やまがた農泊体験塾】小学校で豆腐を作ったり歌ったり楽しすぎてもっと山形が大好きになりました！《後編》

4）新聞への掲載

《山形新聞 7 月 9 日》

夏の農泊 自信のプラン

7.7.9 山新

新型コロナウイルス感染拡大で、国外活動が中心の農山漁村への旅が注目される中、県グリーン・ツーリズム推進協議会（八木明会長）は「やまがた夏の農泊体験塾」を発信している。県内で1、2泊し、金山杉でのマイ箸作りやイカの一夜干し作り、棚水巡りなどを楽しめる6プラン。いずれも昨年度までに同協議会の支援でモニターツアーを実施し、さらに磨き上げた体験メニューだ。

県グリーン・ツーリズム推進協が発信

モニターツアーで磨き上げ

農山漁村への旅は、家族や小グループでの参加が多いこともあり、コロナ下での安全な旅として注目されているという。体験塾のプランは世界的目標（関心が高まっているSDGs（持続可能な開発目標）を実現する暮らしに触れたり、学んだりするものも多い。宿泊場所は農家民宿や旧校舎をリノベーションした施設など。この夏のプランは住内、最上、村山エリアの事業者が企画・実施する。

「夏のもがみで最上の農泊体験を」（7月23、24日、締め切りは13日）は、金山・真室川町で金山杉の箸作りやブルーベリーの摘み取りとスイーツ作り、夏野菜のバーベキューなどを楽しむ。「やまさぁーの農泊体験」（8月1、3日、締め切りは7月25日）は大江町を拠点に「昆虫マスター」を目指すプラン。夜行性の昆虫観察や草本作り、ドラム缶風呂などを体験する。

「遊佐をめいっぱい楽しもう 親子でSDGs体験」（8月20、21日、締め切りは8月10日）は、丸池や鼎腹滝、釜磯海岸など湧水スポットを巡り、早朝座禅、そば打ち体験もある。

このほか、民泊新屋とら豆de尾花沢の農泊体験（8月11、12日）▽庄内の海と里の魅力を満喫する農泊体験のシーカヤックコース、イカの一夜干しとハフ女（8月21、28日）がある。

秋、冬の旅も企画中で、いずれも8月24、28日）がある。

秋、冬の旅も企画中で、いずれも先着2組・30人程度。料金は同協議会の助成金を活用して利用しやすく設定しており、1人9千円～1万6千円。問い合わせは同協議会023（647）8351（平日のみ）。

（坂本由美子）

・ネイチャリングコース、www.gt-yamagata.com/nohaku/から。

夏の農泊体験塾のチラシ。各地の自然資源を生かした多彩な企画が掲載されている

《河北新報 7 月 1 日》

山形の農泊 味わって

山形県グリーン・ツーリズム推進協議会（山形市）は7、8月、県内各地の農山漁村地域に宿泊して食事や体験を楽しむ「やまがた農泊体験塾」を実施する。協議会が参加者を募集している。

推進協が参加者募集

1泊2日の計6コースを設定。庄内地方でのシーカヤックやクルージング、尾花沢市でのラズベリーや夏野菜の収穫、大江町での昆虫採集などを体験できる。宿泊は各地域の農家民宿や旧校舎などをリノベーションした施設を利用し、地元食材を使った料理も味わえる。

昨年は参加者を県民に限定しており、本格的な実施は初めて。秋と冬にも別の内容で行う予定。

協議会の担当者は「新型コロナウイルス禍で地方への移住や旅行への関心が高まる中、宮城など東北の人にも農泊を通して山形の農山漁村地域の魅力を伝えたい」と意図を語る。

企画の詳細は体験塾のホームページに記載している。連絡先は協議会023（647）8351。

《山形新聞 8 月 25 日》

秋の農泊体験塾 5プラン紹介

県グリーン・ツーリズム推進協

県グリーン・ツーリズム推進協議会は、秋の農泊体験塾の5プランを紹介している。

食べられるバラの摘み取りやクラフト体験は9月17、18日、村山市で。県内の親子15人を募集。申し込みは9日まで。

9月24、25日には寒河江市で乗馬や街歩き、星空観察を楽しむ。8組24人を募集。14日まで。

飯豊町中津川での里山生活体験と白川湖カヌー体験は9月29、30日。定員10人で14日まで。

サトイモや原木ナメコの収穫体験や芋煮づくりなどを行う尾花沢市での企画は10月8、9日。定員5人で、9月28日まで。

朝日町での蜜ろうクラフトづくりとリンゴ農家体験は10月29、30日。定員は6組15人、10月23日まで。

参加費は6500円～1万9000円。申し込みは、詳細を紹介している「やまがた農泊体験塾」のサイト（http://www.gt-yamagata.com/nohaku/）から。問い合わせは同協議会023(647)8351（平日のみ）。

（坂本由美子）

《河北新報 8 月 14 日》

秋の楽しい山形 存分に

8/14 河北

9、10月ツアー 県推進協募集

農泊体験など5コース

山形県グリーン・ツーリズム推進協議会（山形市）は、9、10月に県内の山村漁村地域で実施する「やまがた農泊体験塾」の参加者を募集している。

農家民宿などに宿泊する2日間の日程で5コースを設定。尾花沢市でサトイモ収穫体験と芋煮作り、飯豊町で里山生活と白川湖のカヌーの体験、寒河江市でサイクルツアーとキャンプファイアなどが楽しめる。

同推進協は夏、秋、冬に分けて旅行商品を企画。昨年は参加者を県民に限定し、今年から本格的に参加者を受け入れている。冬は12月中旬に予定する。

日時や料金、申し込みの締め切り日はコースにより異なり、一部は県民限定。申し込みは体験塾のウェブサイトで受け付けている。連絡先は同推進協023(647)8351。

5）その他

≪農泊ポータルサイト nohaku.net　7/4≫ ☛

農泊 nohaku.net 農泊ポータルサイト

泊まる　楽しむ　味わう　お気に入り

農泊サイト ＞ 最新ニュース ＞ 「やまがた農泊体験塾2022」参加募集のお知らせ

「やまがた農泊体験塾2022」参加募集のお知らせ

農泊地域からの最新情報

2022.07.04

山形県グリーン・ツーリズム推進協議会では、緑豊かな農山漁村に宿泊し、その地域の食事や体験・交流など、その地域のありのままの暮らしを体験できる「農泊」（農山漁村 滞在型旅行）事業に取り組んでおり、今回、山形県内各地で「農泊」を体験できる「やまがた農泊体験塾」を企画いたしました。

「やまがた農泊体験塾」は、山形県内の緑豊かな農山漁村エリアにある農家民宿やゲストハウス、旧校舎などをリノベーションした宿泊施設に宿泊し、その地域で採れる新鮮な食材を使った食事を味わい、その土地ならではのアクティビティ体験や交流等を楽しむ農泊体験企画のことです。

「まずは農泊を手軽に楽しみたい！」という方、「やまがた農泊体験塾2022」への参加をお待ちしております。

やまがたの日常にひそんだ新たな魅力や感動を探しに農泊のたびにでかけてみませんか？

【「やまがた農泊体験塾2022」はこちら】

http://www.gt-yamagata.com/nohaku/

山形県グリーン・ツーリズム推進協議会

(5) 農泊品質評価支援事業【新規】

日本ファームステイ協会による「農泊品質評価支援制度」は、国際基準を踏まえた、日本独自の支援制度による、農泊地域における各種施設の品質向上に向けた多面的支援を目標としている。

① 基本的な考え方

1)「格付け」や「選別」ではなく品質の底上げを目指し、個々の実践者の品質向上を支援
2)「客観的基準」による品質を評価・認証することで、利用者に「安全・安心」の判断基準を提供
3)改善提案や苦情対応等協会の支援策を整備・公開し、評価や審査に消極的な実践者の参加を促す

② 期待効果

1)達成すべき水準が明確となり、業務改善ツールとして活用
2)質の高い施設情報をアピールして、集客力の向上と適正な価格設定による収益力の向上に貢献
3)品質認証により、旅行者に安心・安全を提供し、旅行者ニーズとの円滑なマッチングに貢献
4)実践者及び地域全体の品質の底上げにより、地域に国内外の多様な旅行者を呼び込み地域の活性化につなげ、訪れる人々には農山漁村の価値の再発見を促し、実践者には地域へのプライドの醸成を促進

③ 経 緯

1)令和４年度に「評価員を育成する研修会」を飯豊町中津川地区で受け入れる予定であったが、研修を受講した評価員の実践機会を確保したいとのことから、評価（施設調査）を受け入れてもらいたい、と日本ファームステイ協会から申し出あり。
2)４年９月に「なかつがわ民宿組合」７組合員に対し、日本ファームステイ協会から説明会を実施してもらい、「なかつがわ民宿組合」で評価を受け入れることとした。
3)これを受けて、「農家のお宿の会」未加入４軒も新規加入していただいた。
4)協議会では、「農家のお宿の会」として申し込むこと及び評価経費の一部を助成できるよう役員会に諮る旨説明（団体申込みが割安）。
5)４年９月の役員会で、「農家のお宿の会」として評価受入れを申し込むこと及び経費の 1/2 を助成することで決定した。
6)「農家のお宿の会」会員へ評価受入れを募集、５軒希望があり、合計 12 軒で申込み
7）都合により、2 軒が 5 年度に実施することとなり、令和 4 年度は 10 軒で実施

④ 農泊品質評価に係る施設調査の実施

1）11 月 21 日（月）～22 日（火） 評価員：日本航空㈱客室乗務員 2 名
６軒で実施（農家民宿 いろり、庄太郎、いからし新家、ごえもん、あえる村、中村）
2）11 月 28 日（月）～29 日（火） 評価員：(一社）全国農協観光協会職員 1 名
４軒で実施（蔵民宿あおやぎ、農家の宿 母家、いこいの宿 農、農家民宿 若松屋）

⑤ 「農泊品質評価支援制度」の評価（施設調査）費用の一部について

「農家のお宿の会」会員を対象として、評価経費の 1/2 を助成する
団体扱い 27,500 円/軒 1 /2 を助成 ➡13,750 円 （個人負担 13,750 円）
（参考）個人 33,000 円/軒（助成 16,500 円）☛ 個人負担 16,500 円
※ 12 月 2 日 拡大幹事会にて補正予算議決

⑥ 品質認証について

5 年 3 月 日本ファームステイ協会の審査会で決定。3 月認証。
5 月の総会時に認証書を授与。

５．総会、役員会、幹事会の開催

(1) 第１回拡大幹事会　令和４年５月 13 日（金）

協議内容：総会議案について
総会の日程及び進め方について
「やまがた農泊体験塾」の実施企画と「地域活動推進事業助成金」の審査について

(2) 総　会　　令和４年６月１日（水）

議　　題：令和３年度事業報告及び収支決算について
役員の改選について
令和４年度事業計画及び収支予算（案）について

(3) 第１回役員会　　令和４年９月 28 日（水）

協議内容：受入態勢整備事業助成金の下期分等の審査について
令和４年度事業の実施状況について
農林水産省「都道府県ネットワーク組織」の構築について　　ほか

(4) 第２回拡大幹事会　令和４年 12 月２日（金）

協議内容：令和４年度事業の実施状況及び事業予算の執行状況について
令和５年度事業の実施方向について
「やまがた農泊体験塾」の検討について　ほか

(5) 第２回役員会　　令和５年３月 15 日（水）

協議内容：令和４年度事業の実施状況、収支決算見込みについて
役員改選及び幹事について
農泊実施地域の選定に関する「規約」改正及び「農泊実施地域の選定要領」制定
令和５年度事業の実施方向について
受入態勢整備事業助成金の令和５年度上期分の審査について
地域活動推進事業助成金（農泊体験塾）の審査について　　ほか

《県補助事業》

１．グリーン・ツーリズム推進事業

(1) 「グリーン・ツーリズム NEWS」の発行

事務局による旬のグリーン・ツーリズム情報の発信（年 3 回発行）

「やまがた農泊体験塾」の PR チラシを作成【再掲】

①6 月発行

「やまがた農泊体験塾」の夏企画分（7 月～8 月実施）の紹介

20,000 部作成、県内外 389 ヶ所に配置

②8 月発行

「やまがた農泊体験塾」の秋企画分（9 月～10 月実施）の紹介

20,000 部作成、県内外 391 ヶ所に配置

③12 月発行

「やまがた農泊体験塾」の冬企画分（1 月～2 月実施）の紹介

17,000 部作成、県内外 425 ヶ所に配置

(2) HP「やまがた的グリーン・ツーリズム」の管理運営

主要な４つのコンテンツ（「泊まる」「食べる」「体験する」「買う」）での情報発信と併せ、「新着・イベント情報」と「会員トピックス」を活用し、協議会事業の発信やコロナ禍への対応情報の提供、会員の旬な情報等の収集など、Web サイトを活用した情報発信を積極的に実施

併せて、会員情報データベース「農～んびりやまがた発見ナビ」のメンテナンスを継続的に行う。

①アクセス件数（ページビュー数）

	R1	R2	R3	R4
メインサーバー	55,484	45,362	41,581	※148,770
農～んびりやまがた発見ナビ	63,509	78,474	85,751	85,774
さくらんぼナビ(5～7 月)	89,084	9,187	8,273	19,246
農家のお宿サイト	32,535	36,416	35,891	43,918
農園ランチめぐりサイト	32,684	87,634	89,589	
総アクセス数	273,296	257,073	261,085	297,708

※農園ランチコンテンツを含む

②「会員トピックス」及び「新着・イベント情報」の積極的な活用

《発信件数》　74 件（R3：132 件）

会員　5 件（７件）、事務局　37 件（98 件）、県及び市町村　32 件（32 件）

③データベース「農～んびりやまがた発見ナビ」の情報更新

格納データ　690 件　うち協議会会員　156 件

（新規登録　0 件、内容修正　17 件、登録削除　3 件）

《県委託事業》

「農泊推進に向けた広域ネットワーク拡大事業」

（1）委託業務の概要

１）広域的な実践者ネットワークの拡充

農泊・農山漁村体験利用拡大のための地域資源（農家民宿、農家レストラン、農山漁村体験）の実践者の掘り起こしや、既存のネットワークを踏まえつつ、より広域的なネットワーク形成を目的とした現地調査及び地域資源別 Web サイト作成による情報発信の実施　　現地箇所数　５ヶ所程度

２）「やまがた農泊総合ガイド」情報のWeb サイトでの発信

３年度作成した「やまがた農泊総合ガイド」の情報を Web サイトへ組込み、ガイドブックと併せて山形県の「農泊」を一層推進していく。

３）「やまがた農泊体験塾」の情報発信

県内各地で具体的な農泊体験ができる企画を提供していくため、「やまがた農泊体験塾」の Web サイトを充実させ、更なる情報発信を行う。

〇Web サイトの拡充

令和 3 年度の試行時に開設した Web サイト（簡易的に作成）を拡充
トップページの改修、企画ごとの個別ページの作成、
予約フォームの組入れ、参加者の意見・感想の掲載　等

〇PR 媒体での情報発信

ターゲット別に 2 通りを検討
仙台市周辺在住者　➡　フリーペーパー「河北ウイークリーせんだい」
30～40 代のファミリー層　➡　インフルエンサーの招聘

（2）事業の実施状況

①広域的な実践者ネットワークの拡充

農泊推進の３分野での実践者を掘り起こし、全県での分野別ネットワークの拡充を図る。

1）農家民宿

①《調査箇所》

「農家のお宿の会」の新規会員である 2 軒の農家民宿を選定
尾花沢市細野　「民泊耕房　とら豆」
鶴岡市福田　　「農家の宿　母家」

《実施状況》

事業者に委託して現地調査を行い、これをもとに農家のお宿サイトに個別ページを作成（英語版ページも作成）

委 託 先：AISOHO 株式会社
委 託 費：158,400 円（税込）
委託期間：6 月 23 日～11 月 30 日

②《調査箇所》

「農家のお宿の会」の新規会員である 3 軒の農家民宿を選定
（令和 4 年 10 月に新規加入 4 軒のうち 1 軒から R5 年度作成の申出あり）
飯豊町中津川地区　「農家民宿　いからし本家」
「農家民宿　いからし新家」
「農家民宿　あえる村」

《実施状況》

事業者に委託して現地調査を行い、これをもとに農家のお宿サイトに個別ページを作成（英語版ページも作成）

委 託 先：AISOHO 株式会社

委 託 費：207,900 円（税込）

委託期間：10 月 12 日～令和 5 年 1 月 31 日

2）農園レストラン

《調査箇所》

地域食材を使った農園ランチに参加意向のある 1 ヶ所の農家レストランを選定

尾花沢市細野　「農家レストラン　蔵」

《実施状況》

事務局で現地調査を行って資料を作成。これをもとに事業者に委託して、地域食材を使った農園ランチコンテンツ内に個別ページを作成。

3）農山漁村体験施設

《調査箇所》

全県での農山漁村体験ネットワークに参加意向のある 1 ヶ所の体験施設・団体を選定

尾花沢市細野　「清流と山菜の里ほその村」

《実施状況》

事務局で現地調査を行って資料を作成。これをもとに事業者に委託して農山漁村体験情報コンテンツ内に個別ページを作成。

ジを作成（英語版ページも作成）

≪ 2）と 3）の委託内容≫

委 託 先：藤庄印刷株式会社

委 託 費：36,300 円（税込）

委託期間：9 月 22 日～11 月 30 日

②「やまがた農泊総合ガイド」情報の Web への組込み

「やまがた農泊総合ガイド」をもとに、Web サイトでの情報発信を行っていく。

新たに作成する Web ページ　5 ページ

※　各分野別の施設情報は、既存の Web ページを活用する。

委 託 先：藤庄印刷株式会社

委 託 費：93,500 円（税込）、委託期間：10 月 17 日～令和 5 年 1 月 31 日

③「やまがた農泊体験塾」の情報発信

〇Web サイトの拡充

Web サイトの拡充、トップページの改修、企画ごとの個別ページの作成、予約フォームの組入れ、参加者の意見・感想の掲載　等

〇PR 媒体での情報発信（再掲）

仙台市周辺在住者　➡　フリーペーパー「河北ウイークリーせんだい」【再掲】

30～40 代のファミリー層　➡　インフルエンサー（YouTuber）の招聘【再掲】